

登別中学校

第5回学校適正配置に関する地区別検討委員会議事録

日時 令和5年5月24日（水）18時00分

会場 登別市コミュニティセンター明和園

出席者 （委員）

飯尾委員、関川委員、岡崎委員、日野委員、坂井委員、岸委員、斉藤委員、
畠山委員、中川委員、川西委員、成田委員

（事務局）

森元部長、菅田参与、舘下次長、近間総括主幹、南雲建築主幹、西川原総括主幹、
秋葉学務主幹、林担当員

【議事録】

○中川会長 それでは時間となりましたので、始めたいと思います。大変お忙しい所お集まりいただきましてありがとうございます。

前回は、地区別検討委員会本体としては、約1年ぶりの会議となりまして、教育環境部会、まちづくり部会、双方の部会長より、部会としての議論のまとめについて報告いただきました。

教育環境部会の飯尾部会長からは、この地区から中学校が無くなることに寂しさを感じつつも、登別中学校の現在の生徒数や今後の推移、子どもたちを取り巻く教育環境の現状などを踏まえて、令和7年度を目途に、登別中学校と幌別中学校を統合すること、両校の校区をひとつにすることに賛成するとのまとめを報告いただきました。

また、まちづくり部会の成田部会長からは、義務教育の一角である中学校が無くなることでまちづくりに生じる影響、特に中学校が無くなることにより、子育て世帯の定住人口がいっそう少なくなってしまうことを危惧し、登別中学校の統合に反対し、同校を存続できるよう地域活性化に取り組むべきとの報告をいただきました。

それぞれの部会で長期間にわたって意見を交わしてきたこともあり、議論し尽くした感があったのか、両部会の議論のまとめに関し、委員の皆さんから特に質問や意見はありませんでしたが、本日は、委員会としての結論をまとめるため、あらためて委員間で意見交換を行っていきたいと思っております。

それではさっそくですが、会議次第2として、委員会としての結論のとりまとめに向け、意見交換を行いたいと思います。両部会の議論のまとめを踏まえて、どのような形で結論をとりまとめていくか、委員の皆さんからの意見はありませんでしょうか。

○委員 もともと統合には賛成の立場でしたが、子どもたちから直接話を聞く機会もあり、やりたい部活ができなかった、コミュニケーションをもっと広げたかった、友達関係をもっと広げたかったといった話を聞くにつけ、もう少し人数の多い中で学校生活を送ることができるよう環境を整えてあげたいという思いを強くしました。通学方法などの課題については、十分な配慮を行ってもらえるものと思いますので、統合の方向へ進んでいくのが望ましいと考えております。

○中川会長 ありがとうございます。子どものことを考えれば、統合の方向で進むべきという意見でした。他にありませんでしょうか？

○委員 そもそも学校のことについては、やはり教育環境のことを第一に考えなければならぬと思っていますし、現在の生徒数と教育環境を考えれば、統合ということではなくて、校区の見直しは避けて通れないものと考えています。校区の見直しをした時に、幌別の子どもたちが登別に通うのではなく、登別の子どもたちが幌別に通うのが自然な流れになるのかなと思います。校区の見直しによって、通学路や制服など、検討しなければならないことがたくさんあるわけですが、そうしたことを検討する段階に来ているのかなと思います。

○委員 追加でよろしいでしょうか。統合するにあたって、やはり一番心配なのが、子どもの心の問題だと思います。統合という特殊な事情が無くても、小学校から中

学校に進学する時には、中1ギャップという言葉もあるように、進路や学習に抵抗感が生じてしまいます。ましてや、環境が違う遠くの学校に通うこととなりますので、そのあたりの心のケアはしっかりとしなければならないと思います。例えば、子どもたちが安心感を持てるよう、統合時に登別中学校の教員を数人、統合先の幌別中学校に配置するといった配慮も必要だと思います。

○中川会長 ありがとうございます。教員としての経験を踏まえた、委員ならではのご意見だったと思います。他にありませんでしょうか？

○委 員 本日はPTAの関係で欠席している委員と話をしたのですが、委員と認識が同じだった部分を中心に少しお話します。これまで、教育環境部会とまちづくり部会に分かれて議論を尽くしてきましたので、再度時間をかけて協議ということにはならないのではないかと。やはり子どもたちのことを考えれば、統合は避けられないのだと思います。ただ、まちへの影響を考えれば、単に統合を受け入れるということではなく、地域活性化への取組を同時に考えなければならない。そうした意味で、まちづくり部会の議論のまとめとしても、地域活性化に特化した別組織を立ち上げて、取組を進めていきたいと思いますという内容だったわけですが、今後は、実際にどのような形で、地域活性化の取組を進めていくのかというのが重要になろうと思います。その形が見えれば、地域としても、未来志向を持って進んでいけるものと思います。そうした意味でも、行政として、責任を持って新たな協議体を立ち上げていただきたいですし、本来であれば、口約束ではなく、今後の動きが担保できるような書面があればいいのですが、任意の委員会にそうしたものを出すのも難しいと思いますので、議論のまとめにそうしたことをしっかりと書いていただければと思います。子どもや保護者の立場に立てば、そろそろ結論が聞きたいという時期に来ていますので、しっかりと答えは出しつつ、まちづくりの面でも今後の動きが見えるような形で議論をまとめていく必要があると思っています。

○中川会長 ありがとうございます。非常に建設的な意見を聞かせていただきました。教育

環境部会とまちづくり部会、それぞれの議論のまとめは、ある意味では正反対の内容になってしまったわけですが、それぞれの立場に固執したままでは、委員会として一つの決断を引き出すことはできませんし、それは子どもたちにとっても良いことではありません。本日、委員の皆さんからは、相対する立場に理解を示しながら、なんとか一致点を見いだそうと、様々な意見を聞かさせていただきました。協議開始から1年半が経過し、そろそろ結論を出す時期が来ているものと感じておりますので、次回までの間に、皆さんからいただいた意見を踏まえて、私の方で、議論のまとめの案を作成し、お示ししたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

○中川会長 ありがとうございます。それでは、次回までに、私の方で議論のまとめの案を作成し、お示ししたいと思います。

○中川会長 最後に、会議次第4の「その他」ですが、もし可能であれば、仮に統合の方向で進むことになった場合のこの先のスケジュールを示していただければと思うのですが、事務局いかがでしょうか。

○事務局 次回までに、皆さんのご意見を踏まえて、会長の方で議論のまとめの案、この委員会から教育委員会に対する意見書の案を作成することになるわけですが、仮に統合の方向性で進むとしたらという仮定でお話いたします。当初、教育委員会が示したグランドデザインでは、令和7年度の統合を想定していたわけですが、仮に今から統合の方向に向かうとしても、統合までの準備に十分な時間を確保することを考えれば、令和7年度の統合は難しい状況であり、令和9年度というのがひとつの目安になるものと思っています。令和9年度の統合を目指す場合のスケジュールを申し上げますと、仮に今年度の半ばに教育委員会が統合の方針を固めた場合には、本年度の後半以降、登別中学校と幌別中学校の関係者により新たな協議体を設置し、通学手段や制服、特色ある教育の取扱いなど、統合にあたっ

ての基本事項を協議いただくこととなります。この協議を来年度の後半までに終え、それを踏まえて、来年度中には、教育委員会として、統合後の環境整備に関する方針を策定することとなります。その後、令和7年度には、両校の教職員により、教育課程や学校生活のルール、備品の取扱いなどに関し協議、調整を行い、令和8年度には1年間を通じて、生徒同士の交流事業を実施するなどし、令和9年度の統合に備えることになろうと思います。仮に令和9年度の統合を目指すことになった場合には、概ね以上のスケジュールで進むことになろうかと思えます。

○中川会長 ありがとうございます。その他、委員の皆さんから何かありませんでしょうか？

○委 員 学校のあり方を考える場合には、第一に子どもたちのこと、教育環境のことを考えることとなりますので、そうした面からは統合やむなしということになるわけですが、まちづくり部会の皆さん、そして私自身も、この地区から学校が無くなることで、地域が衰退してしまうのではないかと、子どもの数が減ってしまうのではないかとという危機感を持っていますので、教育面で子どもたちの受入体制を万全にさせていただくのは当然なのですが、同時に、まちづくりの面でも、統合の取組と同時進行で地域活性化の取組が進むよう、まとめの中にしっかりと書き込んで欲しいと思います。

○中川会長 ありがとうございます。この地区から学校が無くなることで、地域の活力が低下することを危惧する意見が多くあったわけですから、そうした心配を払拭できるよう、地域活性化に取り組むことが必要だと思っていますし、まちづくり部会での議論を踏まえれば、地域活性化に関しては、それに特化した協議体を新たに立ち上げて取り組んで行くことになろうかと思えますが、その取組に行政から必要なバックアップが得られるよう、意見書の中にもしっかりと位置付けなければならないと思っています。それでは、今後につきまして、事務局の方から何か連絡事項がありましたらお願いいたします。

○事務局 皆さんのこれまでの議論を踏まえて、次回、この委員会としての議論のまとめの案、教育委員会に対する意見書の案を、会長からお示しいただくことになりました。会長には、非常に重い役割をお願いすることになりますけれども、よろしくお願ひいたします。そこで、次回会議の日程についてであります、今のところ、6月27日、火曜日の18時から、ヌプルでの開催を予定しております。詳しくは、別途書面でお知らせしたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

○中川会長 ただいま事務局からありましたように、次回は6月27日、火曜日の開催を予定しております。詳しくは書面にてご案内いたします。本日は長時間にわたりありがとうございました。次回もよろしくお願ひいたします。